

# 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

奥の細道  
むすびの地  
**大垣**

令和七年十二月度 入賞句一覧

投句数 千百五十七 句

小中学生の部

## 特選

雪合せん見て いるしんぱんゆきだるま

大垣市

うすい ここな（小三）

雪がふると大人はこたつで丸くなりますが、子どもは風の子です。外で元気よく飛び回り、雪が大好きです。すぐに雪だるまを作り、でき上がると次に雪合せんが始まります。敵味方に分かれてしんけんな雪合せんになつてきました。しんぱんは雪だるまです。さて、どちらが勝つたのでしょうか。元気な笑い声がきこえきます。

きもちいい氷をわるとガラス音

大垣市

久保田 瑞伊（小五）

水は気温が0度以下になると凍りはじめます。池や川にも氷がはります。身近なところでは水たまりやバケツなどにも氷がはります。またの早い登校中に水たまりの氷をふんだのでしょうか。パリンとガラスが割れたような音がしましたね。おどろきと共になんだかすつきりとしたそうかい感もあつたようですね。

ひがんばな夕日で野原が燃えている

大垣市

加代 杏奈（小六）

秋になると田畠や堤防に、まつかな色をつけたひがん花が群れて咲いています。秋のおひがんの頃に咲くのでひがん花と呼ばれています。夕日にそまつて「野原が燃えている」と表現したところが強れつに心にささつてきます。作者の心にもしつかりと焼きついた景色のようです。

## 秀逸

いつだつてうたをあいしたばしょうさん

岡山県倉敷市

岡崎 あおば（小三）

きたかぜがぎんぎんなるよふゆのかぜ

大垣市

あさ野 りょうすけ（小二）

かえつたらこたつがでててくびだけだ

大垣市

冨田 精佑（小三）

げんばくきかなしいかこがあつたんだ

大垣市

高山 稔太（小四）

冬の月ぎらりと光るたつた一つ

大垣市

谷川 叶真（小六）

赤トンボタやけのうみでおよいである

大垣市

おく田 ゆう心（小五）

冬の川こいが泳いでなみがたつ

揖斐郡池田町

森 彩名（小五）

風が静かな冬をふきぬける

揖斐郡池田町

中野 聰祐（小五）

水門川うかぶ水鳥ゆつたりと

陸田 峻生（小四）

秋の風さびたぶらんこキーkeyと

## 入選

手洗いがなんだかいやな秋の水

中村 朱里（小四）  
大垣市

カメムシがせんたくものから出てきたよ

戸田 台颺（小二）  
大垣市

A I とえいごをまなぶあきの夕

川上 凜（小二）  
大垣市

かぞくがねせまいこたつをとりあつこ

日比野 さくら（小四）  
大垣市

ふなくだりゆうきがなくてこわかつた

竹内 実玖（小四）  
大垣市

ことしでね秋の七草おぼえれた

香村 悠月（小五）  
大垣市

今年こそサンタを見るぞてつ夜する

坂下 椎己（小五）  
大垣市

ゆきだるま一つの命をつくりちゅう

安田 まきと（小五）  
大垣市

夜ご飯たべたことないたらばがに

澤田 健吾（小五）  
大垣市

秋の木の葉っぱが落ちてパリッとなる

清水 慎斗（小六）  
大垣市

もみじかるやまはだんだんいろあせる

上野 愛月（小四）  
大垣市

きのこじるぼくはたべないぜつたいだ

かわせ かずとし（小四）  
大垣市

さむいふゆゆきだるまこりりできあがり

馬渕 すず（小四）  
大垣市

秋はじめどく書が進み時すぎる

小坂 茅佐（小六）  
大垣市

冬紅葉風にまかれてまい落ちる

馬場 伊織（小五）  
揖斐郡池田町

冬の川かわうが魚おいかける

川さき りおな（小三）  
揖斐郡池田町

水面に咲き乱れたり蓮の花

遠藤 綾乃（小五）  
大垣市

空光るはげしき雷雨龍の如

永津 航（小六）  
大垣市

ピカピカとイルミネーション目もひかる

杉原 佑亮（小六）  
大垣市

子を抱き上げ聖樹に飾る銀の星

よちゑ



## 選者吟